



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Lend a Hand

「ロータリー：手を貸そう」

2003～2004年度・国際ロータリーテーマ／ジョナサンB.マジアベ会長

「楽しいロータリー — 手に手、心から心へ輪を広げよう —」

2003～2004年度・東京新南ロータリークラブテーマ／西澤正雄会長

【本日の例会】2004年3月12日 第831回例会

◎卓話

「オペラと歌舞伎400年」

昭和音楽大学教授
東京芸術大学講師

永 竹 由 幸 氏
(紹介者 佐々木会員)

【前々回報告】2004年2月27日 第829回例会

第2750地区 地区大会報告

(先週に引き続き)

『100周年へのプロローグ—いま、チャレンジのとき』をテーマに掲げ去る2月26日(木)、27日(金)の両日、新高輪プリンスホテル・国際館パミールで地区大会が開催された。主催者の発表で2日間の出席登録会員数は3870名(26日2602名、27日1268名)で出席率は74.35%。当クラブからは40名の登録があった。ホストクラブ東京立川RC、コ・ホスト東京立川こぶしRCが担当。鈴木正二ガバナーの点鐘に始まった2日間の大会は、千玄室RI会長代理出席のもと姉妹地区の韓国3650地区からの来賓を始めパシフィックベイスン地域4カ国8RCを含む90RCの参加でプログラムがスタート。

第1日目では、東京麻布RCを筆頭に地区ごとに参加クラブ紹介のあと、鈴木ガバナーが、国際RCジョナサンB・マジアベ会長からのメッセージを披露、年間テーマ「手を貸そう(Lend a Hand)」から大会テーマに掛けて貧困、飢餓、教育、紛争などにロータリアンが真正面から挑戦、援助の手を差し伸べようと述べ、現在RIは、会員122万名を数えるまでになり、その進展の裏で肥大化、形骸化も指摘され始めた。ますます創設当時の理想や理念を思い起こし、今大会を契機に発奮とさわやかな交流で力強く前進するきっかけにして欲しいと挨拶された。

また、千玄室RI会長代理は、来年度ロータリー創立100年の節目に当たり、現在の厳しい社会情勢も茶道になぞらえ人間同士の謙虚な心と思いやりの情を培い友愛、奉仕の理想から世界平和の寄与を願いたいと述べ、更に今年5月大阪で開催される国際大会に多数の会員の参加を呼びかけた。

この後、寛仁親王殿下の御講話「日本とトルコについて」のお題でプロジェクターを使い日ト友好の歴史の上に欧州史で未解明の歴史を紐解く遺跡発掘調査が日本人の手で進んでおり世界に誇る発見が続いている。気の遠くなるような遠大な調査に注目願うとともに、資金支援の協力要請があった。終了後地区から寄付の贈呈があった。



プログラムは、「航空音楽隊とWE3」の記念演奏会ののち、女性会員をパネラーに大会テーマに沿ったフォーラムを最後に閉会点鐘で1日目を終了した。

第2日目は、午前8時45分から本会議が開催され、2004-2005年仲田順和ガバナー・エレクト並びに2005-2006年ガバナー・ノミニ市川伊三夫会員の紹介、挨拶の



あと、国井雅比古NHKエグゼクティブアナウンサーの記念講演「プロジェクトX～私の出会った挑戦者たち～」を90分間余りに亘り講演。番組の生まれた秘話、番組の性格上商品名、企業名を公共放送として初めて正面から取り上げ

好感を得られたことなど放送では話せないエピソードを交えての興味深い話があった。中でも、VTR上映を挟み瀬戸大橋建設にまつわる今はなき公団側責任者の直向な努力や、家庭用VTRを世界標準にした開発者の筆舌に尽くせない労苦では、多くの参加者が目頭が熱くなるのを覚えたことでしょう。国井氏は、職業や金銭、打算では人は動かない。人に感動を呼び起こす仕事こそ大切といい、やる前からあきらめるな、途中でやめればゼロ。企業、会社の1員でも組織を離れた個人としてどのように生きるかが大事。夢を持とうと結ばれた。

その後昼食を挟み、東儀秀樹記念演奏会が開催された。出席した圓谷会員は『コンサートを見てきました。今日はそれを見るためだけに地区大会に行ったと言っても過言ではありません。とても素晴らしい演奏でした。本職の雅楽はもとより、ピアノ、チェロ、歌までこなす彼の幅広い才能には驚きました。ただ、何よりも素晴らしいのは、彼の口から「今度私もロータリーの仲間入りをします。銀座ロータリークラブに入会します」との話を聞いたことです』と印象を述べた。

(福島賢哉 記)

RI日本事務局からのご案内

ロータリー 100年史「奉仕の一世紀：国際ロータリー物語」の日本語版を、5月の大阪国際大会で発売致します。大会会場の出版物販売ブースでお求めいただけますが、混雑を避けるため、事前予約販売をいたしますので是非ご利用下さい。

1冊 25ドル、(革装限定版1冊 100ドル)

3月31日(水)までの予約分には、無料でCD版を添付いたします。

※ 予約申し込みはクラブ事務局へお願いします。



◎会長報告

- ①鈴木地区ガバナーより、2月26日～27日の地区大会に多数ご参加頂き無事成功裡に終了しました。とお礼状を頂きました。
- ②本日来会の米山奨学生・李祥範君は今月末で奨学期間が終了します。李君へ米山奨学会よりの「終了証」をお渡し致しました。
また、クラブより李君の前途を祝しお餞別をお渡ししました。
- ③李君のカウンセラー土屋東一会員へ米山奨学会よりの「感謝状」をお渡ししました。1年間大変お世話になりました。

◎雑誌委員会報告(二宮副委員長)「ロータリーの友」3月号の見所

1. 横組／ローターアクト一週間に因んだ記事に焦点が当てられています。

P10「リーダーを育てる」RI会長

P12「ローターアクトからロータリーへ」フランス第1700地区トゥールーズRC クリスティヌ・アナル氏

P14「ローターアクトの声」国内5地区ローターアクト代表の生の声 清水洋邦氏 外

P20「楽しもう国際大会、もてなそう海外からの友人を……」2004年RI大阪(関西)国際大会実行委員長 遠藤雅臣氏

P26「地域の青少年に“手を貸そう”」国内5地区ガバナー座談会 山田友雄氏 外

P40「地区のたより」

2. 縦組

P4「宇宙から見た人類の未来」畚野信義氏、環境破壊の行末は……、P2「わがまちわが地区」P9「友愛の広場」

P14「言いたい聞きたい」も、どうぞお目通しを……

◎慶事披露 お誕生日祝／小湊雅亮君(3月1日)

100%出席祝／青野信次君(17年)

◎出席報告

会員63名／出席40名・欠席23名(出席規定免除者8名)

ビジター 3名、ゲスト1名(米山奨学生・李祥範君)



3月5日 /6件 11,000円

2003～2004年 累計 966,400円

多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

鈴木貞史／イニシエーションスピーチをするので。松永秀和／鈴木、スピーチ楽しみにしています。武内光晴／今週は、晴れの日やみぞれの日もあり、三寒四温で春はやってくるのでしょうか。西澤民夫／土屋さん、ご苦労様です。石井謙次／土屋先生、今日から週報宜しく願います。土屋東一／留学生李さんは、今日でお別れです。会員の皆さんご指導ご協力有難うございました。

【次週予告】3月19日 第832回例会

◎卓話予定 イニシエーションスピーチ

「ミッションは ファン・ライフ・クリエーション！」

当クラブ会員

(株)オゾンネット 代表取締役

石川佳路君

◎卓話 イニシエーションスピーチ

(3月5日例会)

「バイオテクノロジーと人類の未来」

当クラブ会員

アフィメトリクス・ジャパン(株)代表取締役社長 鈴木貞史



子供のころを振り返ってみるに、当時は、「21世紀」という言葉、が「遠い未来の夢の世界」、というイメージと重なって使われていたような気がします。実際に21世紀を迎え、自分自身が半世紀という時間を経過してこの世に存在しているということに対して今一度考えをめぐらすと、経過した時間の重さと自分の人生の軽さに改めて

驚きます。さて、いったい自分は何をしてきたのか、何か価値ある貢献をしてきたのだろうか、何か人様の役に立っているのだろうかと何気なく考えるふと考えることが多くなりました。それと同時に、何か社会に貢献する活動を自分の人生の後半に向けてやっておかなければ、という別の焦燥感を感じるようになったのがロータリークラブ入会のきっかけです。

2003年は、ワトソン博士がDNAの二重らせん構造を発見してからちょうど、50年目にあたります。ここ10年ほどでバイオテクノロジーが幾何級数的な発展を遂げて、『サイエンス』としての体系を大きく整えてきました。ヒトゲノムの解読という出来事によって、たくさんの科学の歯車が前に向かって回転をはじめたことがきっかけだと思います。

ゲノムとは Gene (=遺伝子)と接尾辞の「-ome」でできた言葉で、「-ome」とは「全体」を意味する接尾辞です。したがって、「ゲノム」とは、「遺伝子全体」という意味を持つ言葉です。生命現象の解明のため、遺伝子の全体像を人類は掌握しつつある、ということ「ゲノム」という言葉は表現していると思います。つまり、科学として生物の生命現象を塩基配列という記号を元に、論理的・解析的に掌握できる可能性が大きく開けているのが現在であり、その新しく勃興する科学によって新しい産業が今後急速に発展してゆくであろうと私は思います。

トランジスターが家電産業の未来を築いたように、また、半導体がエレクトロニクス産業の発展の礎(いしずえ)になったように、DNAチップは医薬、食品、農業、水産業、畜産業、環境保護、といった、人類の福祉の関連する領域、すなわち、ライフサイエンス産業の発展の基礎となり基盤技術になるだろうと私は思います。人類に貢献できる技術にかかわる仕事を50歳を向かえた今、かかわれることを幸福に感じています。

バイオテクノロジー、また、それを基盤技術とするライフサイエンス産業を私の「職場=Vocation」と考え、その発展に貢献することにより、社会貢献をする、という考えをこれからの職業人生活の中に積極的に取り入れてゆこう、と考えています。ロータリー活動が自分の職業人としての生活の一部となるように研鑽を重ねてゆきたいと思います。

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

【会長】西澤正雄 【副会長】小杉真史 【幹事】村山公士 【会報委員長】石井謙次 【今週の担当】土屋東一
事務局／〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場／毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111